

安全データシート

作成日 2011年 7月 8日
改訂日 2014年 2月 26日

1. 製品及び会社情報

製品の名称

速モル B材

会社名

アサヒボンド工業株式会社

住所

東京都板橋区大谷口北町3-7

担当部門

営業部

電話番号

03-3972-4929

FAX番号

03-3972-4583

緊急連絡電話番号

営業部 03-3972-4929

推奨用途及び使用上の制限:

コンクリート欠損の補修に限る。

整理番号 30032

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性

区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分2

発がん性

区分2

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

区分3(気道刺激性)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

区分1(吸入:肺)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

区分2(肝臓、精巣)

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性

区分2

水生環境有害性・慢性

区分2

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期または反復ばく露(吸入)による肺の障害

長期または反復ばく露による(肝臓、精巣)の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

個人用の保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

・吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

・皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激

または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて

容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

・暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。

・気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学品又は一般名 危険有害成分	混合物 シリカ		
化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS番号	官報公示整理番号
シリカ	30～40%	60676-86-0	(1)-548 (化審法)
シリカ	20～30%	14808-60-7	(1)-548 (化審法)
酸化アルミニウム	5.0～15%	1344-28-1	(1)-23 (化審法)
酸化チタン	1.0～5.0%	13463-67-7	(1)-558 (化審法)
三酸化二ほう素	1.0～5.0%	1303-86-2	(1)-71 (化審法)
オクチル酸コバルト	0.1～0.2%	136-52-7	(2)-515 (化審法)
ミネラルスピリット	1.1～5.9%	なし	(9)-1700 (化審法)

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。速やかに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	本製品は不燃性。
使ってはならない消火剤	該当なし。
特有の消火方法	該当なし。
消火を行う者の保護	消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具及び保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 作業の際には必ず保護眼鏡や保護手袋等の保護具を着用し、風上より作業する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境中へ影響を起ささないように注意する。 回収物は、公的認可された産業廃棄物業者に委託し、廃棄する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	衝撃、静電気にて火花が着火しない材質の用具を用いて回収する。 漏洩液はおがくず、ウエス、砂等に吸収させてから容器に回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用機材を準備する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	目、皮膚、及び衣類に触れないように、8項に示した保護具を着用する。 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 積もった研磨粉はできるだけほうき等では集めた上、廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。
局所排気・全体換気	全体換気装置、必要に応じて局所排気装置を設置する。 換気のよい場所で取り扱い、蒸気を吸入しないよう注意する。
安全取扱い注意事項	酸化性物質、有機過酸化物質等の酸化剤など同一場所に置かない。
保管	
保管条件	変質(変形)を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて冷暗所(好ましくは20℃以下)で容器を密閉して保管する。
容器包装材料	ポリエチレンおよびポリプロピレン製容器。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度(暴露限界値、生物学的指標)	
日本産衛学会(2007年版)	0.05mg/m ³ (金属コバルト)
ACGIH(2007年版)	0.05mg/m ³ (金属コバルト)
ACGIH(2009年版) TWA	ミネラルスピリット 100ppm シリカ 0.05mg/m ³

	酸化アルミニウム	10mg/m ³
	酸化チタン	10mg/m ³
	三酸化二ほう素	10mg/m ³
設備対策	局所排気等の設備を設置して作業者が暴露から避けられるようにする。	

保護具

呼吸器の保護具	有機ガス用防毒マスクやエアラインマスク等。
手の保護具	ポリエチレン製の保護手袋。
目の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	長袖の作業衣。
衛生対策	作業中は飲食、喫煙をしない。 作業終了時には、石鹸で手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

外観	灰色粉体
臭い	微かに特有芳香がある
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
発火点	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	0.6~0.8(23/23℃)
溶解度	水に不溶
オクタノール／水分配係数	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	混触危険物質との混合・接触により急激な化学反応が起こり、発熱を生じるおそれがある。
反応性	同上。
避けるべき条件	酸化性物質、有機過酸化物等の酸化剤との混合・接触。
混触危険物質	酸化性物質、有機過酸化物等の酸化剤。
危険有害な分解生成物	不完全燃焼により一酸化炭素を生成するおそれがある。

11. 有害性情報

皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激(区分2) 以下の区分の皮膚腐食性/刺激性の物質を含む。 区分2 ミネラルスピリット 区分3 三酸化二ほう素 含有量をもとでの加算計算で、区分2となった。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	強い眼刺激(区分2) 以下の区分の眼に対する重篤な損傷・刺激性の物質を含む。 区分2 三酸化二ほう素 区分2 ミネラルスピリット 含有量をもとでの加算計算で、区分2となった。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性:データなし 皮膚感作性:データなし
生殖細胞変異原性 発がん性	データなし 発がんのおそれ(区分1) 以下の区分の発がん性の物質を含む。 区分1(IARC) シリカ(CASNo.14808-60-7) 区分2B(IARC) オクチル酸コバルト 含有量をもとでの加算計算で、区分1となった。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	呼吸器への刺激のおそれ(区分3 気道刺激性) 以下の区分の特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)の物質を含む。 区分3(気道刺激性) 酸化アルミニウム 区分3(気道刺激性) 三酸化二ほう素 区分3(麻酔作用、気道刺激性) ミネラルスピリット 含有量をもとでの加算計算で、区分3(気道刺激性)となった。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	長期または反復ばく露(吸入)による肺の障害(区分1) 長期または反復ばく露による(肝臓、精巣)の障害のおそれ(区分2)

以下の区分の特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)の物質を含む。

区分1(吸入:肺) 酸化アルミニウム

区分2(肝臓、精巣) ミネラルスピリット

含有量をもとでの加算計算で、区分1(肺)、区分2(肝臓、精巣)となった。
分類できない

吸引性呼吸器有害性

12. 環境影響情報

水性環境急性有害性

水生生物に毒性 (区分2)

以下の区分の水性環境急性有害性の物質を含む。

区分1 ミネラルスピリット

甲殻類 オオミジンコ LC₅₀(48時間) 0.42~2.3mg/L

区分1の含有量が5.9%、10倍した値が59で25を超えるので区分2とした。

水性環境慢性有害性

長期的影響により水生生物に毒性 (区分2)

残留性・分解性

ミネラルスピリット 難分解性:BOD分解度:12~13%

オゾン層への有害性

急性水生毒性が区分2であり、急速分解性でないので、区分2とした。

本製品はモンリオール議定書の付属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄する場合は、A剤とB材を混合させ速やかに十分な水に浸漬し廃棄するまで保管して下さい。

硬化時に発熱を伴いますので、次のものは廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

汚染容器及び包装

容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国際規制

国連分類

:該当せず

国連番号

:該当せず

品名

:該当せず

容器等級

:該当せず

国内規制

:15項を参照のこと。

輸送の特定の安全対策及び条件

:運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法

該当しない。

労働安全衛生法

名称等を通知すべき有害物

(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

シリカ

酸化アルミニウム

酸化チタン

三酸化二ほう素

ミネラルスピリット

コバルト及びその化合物

化学物質排出把握管理促進法
(PRTR法)

第1種指定化学物質

(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

三酸化二ほう素

コバルト及びその化合物

毒物及び劇物取締法

該当しない。

水質汚濁防止法

有害物質 三酸化二ほう素

土壤汚染対策法

特定有害物質 三酸化二ほう素

じん肺法

第2条施行規則第2条別表粉じん作業(アルミナ、粉じん)

16. その他の情報

参考文献

1)製品安全データシートの作成指針

日本化学工業協会

2)GHS分類結果データベース

独立行政法人製品評価技術基盤機構

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害

性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。